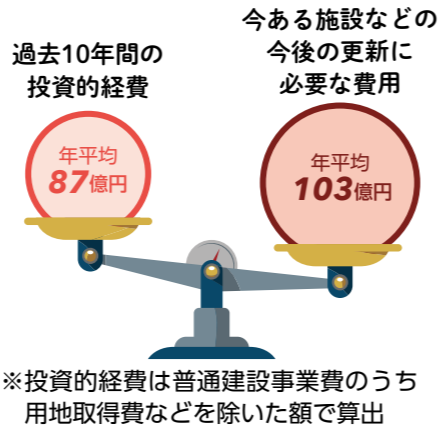


施設維持には多額の費用が必要

今ある施設と道路や上下水道、公園など生活に欠かせない公共インフラを全て更新した場合の費用は、毎年の建設事業などに充ててきた費用を大きく上回る規模になると見込まれています。

また、建設時にはなかったバリアフリーや省エネ化、防災拠点などの機能面の充実や、物価の上昇などで費用が増えていることに加え、日頃の営業や維持管理にも多くの費用がかかります。

働き手の減少や高齢化が進むことで、税収の減少や社会保障関係費の増大などが見込まれ、全ての維持費用を捻出することが難しい状況となってきています。



POINT 財政運営が厳しくなる中で、全ての施設を将来にわたって残していく場合、公共施設以外の公共サービスの維持や向上にも影響が及び恐れがあります。

公共施設のこれから

厳しさを増す財政運営のもとで、これからの公共施設のあり方や運営の方法などは、地域性や時代のニーズなどに合わせて変えていくことが求められています。また、災害などを踏まえた役割を考えることも重要です。

市では「公共施設マネジメント計画」を定めて、見直しを検討する施設を分類別やエリア別で例示しながら市民や市議会の皆さんと一緒に検討しています。

これまでも地域のコミュニティ施設の譲渡や市立保育所の民営化、学校の統廃合などが進んでおり、引き続き民間活力などを十分活用しながら、施設の見直しや新たな利活用、跡地利用などに取り組んでいきます。

見直しを進めている施設例



芦城公園の各種施設(写真は公会堂(築64年))



こまつドームアリーナ(築26年)



空き校舎など(写真は旧金野小学校)

持続可能なまちの発展のために

公共施設マネジメントは、単に特定の施設や面積を減らすかどうかではなく、まちの将来のあるべき姿から公共施設全体をどうしていくのかを考えることが重要です。

これからも様々な機会を通じて市民の皆さんと一緒に公共施設のより良い未来を考えていきます。



市民と共に創る未来型図書館(リビングラボの様子)

公共施設マネジメントの考え方

- 施設の機能や提供するサービスの質を高めます。
 - 施設の適切な保全を続けます。
 - 民間活力でより良い施設を創ります。
 - 施設の機能転換、統合、廃止・処分を進めます。
- 詳しくはこちら▶

本当に必要な施設なのかよく考えていくことがとても大事だね!



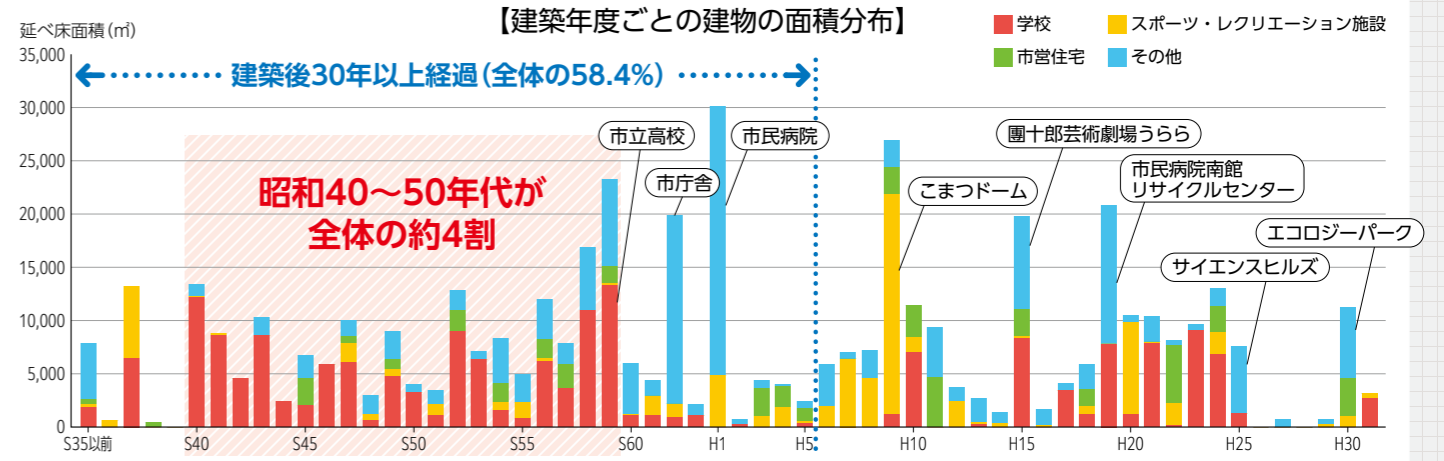
公共施設のより良い未来を考える

～公共施設マネジメントを進めています～

市内には多種多様な施設があり、建設、修繕、建て替え、解体などのライフサイクルで運営されています。子供や孫などの将来世代の負担を熟慮したまちづくりが大切となる中で、これからも市の重要な公共サービスの一つとして適切に運営(マネジメント)していく必要があります。

問い合わせ 行政経営室 ☎24・8157

公共施設の現状



現在市内には、学校や病院、子育て・福祉施設、文化・スポーツ施設など約300の公共施設があります。施設の分類別面積(延べ床面積)で見ると、学校が全体の約4割と最も大きく、スポーツ・レクリエーション施設(17%)、市営住宅(10%)と続きます。

人口増加の時期と重なる昭和40～50年代に建てられたものが全体の約4割、それらを含め建築後30年を経過したものが約6割にのぼり、老朽化により修繕では維持できない場合には大規模な改修や建て替えによる更新が必要となります。

POINT 今後数多くの施設が、大規模改修や建て替えが必要な時期を同時に迎えます。

一斉に改修や建て替えなんてできるのかな?



人口減少と利用ニーズの変化

市の人口は、過去約50年間にわたり10万人規模で推移してきましたが、少子高齢化の影響で年齢構成は大きく変化しています。今後は、かつてないスピードでの人口減少も予想され、公共施設の運営にも大きな影響をもたらすことになります。

POINT 利用者数や必要とされる施設の種類、公共サービスのニーズは変化します。

